

## 第16期第1回 長野市緑を豊かにする委員会 会議録

開催日時	令和7年11月5日(火) 午後1時30分から
開催場所	長野市役所第二庁舎10階 203
委員出席者	委員10名(欠席5名)
傍聴者	報道機関1名
事務局出席者	都市整備部長他公園緑地課職員9名
公開・非公開	公開
次第	<p>会議次第</p> <p>1 はじめに</p> <p>2 長野市あいさつ</p> <p>3 委員委嘱</p> <p>4 正副委員長の選出</p> <p>5 開会</p> <p>6 議事</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 長野市の公園緑地施策について</p> <p>(2) 緑を豊かにする計画の改定について</p> <p>(3) 部会の設置について</p> <p>協議事項</p> <p>(4) 公園管理の今後の在り方について</p> <p>(5) 令和8年度ながの花と緑大賞について</p> <p>7 閉会</p>
議事	<p>【要旨】</p> <p>委員会開催に先立ち、緑を豊かにする条例第15条第1項の規定により、委員の互選により委員長を大窪久美子委員、副委員長を羽片光成委員を選出し、同条例第16条の規定に基づき、委員長が議長として議事を進行。</p>
報告事項	<p>(1) 長野市の公園緑地施策について (委員長)</p> <p>事務局より説明をお願いします。 (事務局)</p> <p>資料1により説明</p>

	<p>(委員長) 委員の皆様、ご意見ご質問等ございましたらお願いします。</p> <p>(委員) 多岐にわたる取り組みに、感心した。 市民 1 人当たりの都市公園面積の目標が 10 m<sup>2</sup>で、現在は 8.19 m<sup>2</sup>だが、人口減により 5、6 年後は、10 m<sup>2</sup>が達成できると思うが、公園を増やす方向か、それとも現状維持の方向か。 次に、公園愛護会や、街路樹愛護活動は、どの様な方がやっているのか。</p> <p>(事務局) 未開設の公園である弁天公園と綱島公園を建設すると、2050 年の辺りで市民一人当たりの都市公園面積は 10 m<sup>2</sup>程度となる。厚生労働省で発表している人口推計によると、5 年前の人口推計と比較して人口減少が少し鈍っている状況もあり、引き続き都市計画で決定された公園については建設を検討していく。 公園愛護会については 727 の公園に対し 658 団体結成しており、草取りやごみ拾い、また簡単な剪定などご協力いただいている。敬老会や育成を母体にした会、自治会の役員中心の会などがあるが、主に地域住民で構成され、公園管理を担っている。街路樹愛護会については 68 団体結成しており、同様に地域住民から構成されるが、沿線の商店街が母体となっている会もあり、草取りや落ち葉拾い、剪定などを行ってもらっている。 少子高齢化などが原因で愛護会は数が減少する傾向にあり、対応が必要となっている。</p> <p>(委員) 公園機能の充実の中で、公園施設魅力アップ事業として位置づけているものといないものがあるが、優先順位はどのようになっているか。子連れには、P-PFI によるカフェやバーベキュー利用は魅力的。</p> <p>(事務局) 公園のほかに、善光寺御開帳に合わせて表参道に花や緑を増やすことを計画しているほか、P-PFI における公園利用者の利便性を向上させる施設の民間資本による整備は、東口公園の飲食施設で実施したほか、現在篠ノ井中央公園でサウンディング調査を実施し、導入に向けて動いている。</p> <p>(委員長) サウンディング調査を実施中ということだが、多方面での施策を実施</p>
--	--

	<p>する中で市民の要望などのデータが必要になると思うが、アンケート調査などで把握しているか。</p> <p>(事務局)</p> <p>緑豊かにする計画を策定する中で、市の「まちづくりアンケート」で身近にあったほうがよいと思う緑などについて調査を実施している。次回の計画策定に合わせて、再度まちづくりアンケートによる調査を実施する予定。</p> <p>(委員)</p> <p>ながのこども館が、悪天時、夏の猛暑のとき子供たちを遊ばせるときに良かった。このような屋内施設や、屋根があるような公園が増えたらいいなと思うが、どう考えるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>天候に左右されずに遊べる遊び場の要望が増えてきている。公園だけではなく長野市全体の課題として検討していく。</p> <p>(2) 緑を豊かにする計画の改定について</p> <p>(委員長)</p> <p>議事1から3は、報告事項です。</p> <p>議事2について事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>資料2により説明</p> <p>(委員長)</p> <p>基本方針中に、森林、農地、水辺河川も含めて、緑の保全という項目がある。国も進めている生物多様性の保全については、公園行政とは異なる部署で進めていると思うが、一緒に計画に入れ込んでいく様なビジョンはあるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>計画の中の施策については、今後進捗状況等を検証し見直しながら委員会に諮って決めていく。この計画は広い分野を対象としており、公園緑地課だけでは策定できない部分も多いので、関係部局と調整しながら検討していく。</p> <p>(委員長)</p> <p>今は少子高齢化により社会が変わっていく転換期で、その中で、例えば緑の保全をしながらも、市街地の公園や緑地に出没している熊の保護管理まで都市緑化の課題としてプランニングしなければならない時代になっている。委員会が取り扱う範囲は非常に広いと改めて感じてい</p>
--	---

	<p>る。長野市 자체面積が広く、公園緑地も多い。私自身も課題について、また個々の緑地や公園について、よく知らないところもある。現地の見学会等も、委員会で計画していただいたら、議論が進むと思う。無理のないように、提案する。</p> <p>(事務局)</p> <p>きめ細かい委員のご意見を、次期計画にできる限り盛り込ませていただきたい。ご提案いただいた現地見学も検討していきたい。</p> <p>(3) 部会の設置について</p> <p>(委員長)</p> <p>他にご意見やご質問が無ければ、次に議事3について事務局から説明をお願します。</p> <p>(事務局)</p> <p>資料3により説明</p> <p>(委員長)</p> <p>議事3についてご意見、ご質問等ありましたらお願ひします。</p> <p>(4) 公園管理の今後の在り方について</p> <p>(委員)</p> <p>次に、協議事項に入ります。議事4について事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>資料4により説明</p> <p>(委員長)</p> <p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>委員からご質問、ご意見ありましたらお願ひいたします。</p> <p>(委員)</p> <p>時間的なスケジュールは。</p> <p>(事務局)</p> <p>スケジュールについては、明示ができる段階で報告する。</p> <p>(委員)</p> <p>今後のあり方の検討については、例えば市の総合計画や都市計画マスタープランと関係性はあるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>関係性はない。</p>
--	---

	<p>(委員) 1,000 m<sup>2</sup>以上の大きな遊園地は公園に移行するとして、ほぼ利用価値のない小さいものは整理をしていくという考え方か。</p> <p>(事務局) 現在、維持管理の方法を改めて定めているところで、維持管理が困難な小規模な公園等の取扱いについても今後検討して行く。</p> <p>(委員長) 小さな遊園地に共有地はあるか。地権者はすべて市か。</p> <p>(事務局) 資料の市有地 33 ヶ所は長野市が所有している。借地は、法人、個人等から土地を借りて地代を払って開設している。市有地については、公園の特性や現況を見ながら、優先的に都市公園として位置付けできると考えている。</p> <p>(委員) 面積 1,000 m<sup>2</sup>以上の遊園地が 56 ヶ所あるが、示された基準で判断して都市公園に移行できるものは何箇所になるか。</p> <p>(事務局) 現在精査中だが、概ね 20 箇所近くは都市公園に位置づけられるものと思われる。</p> <p>(委員) 遊園地を都市公園に変更することで、費用の増減は。</p> <p>(事務局) 愛護会に管理を依頼しており、都市公園に移行した後も管理の方法は同じなので費用はほぼ変わらない。</p> <p>(委員) ネーミングライツの導入等、資金を生み出せる公園になると未来につながると思う。</p> <p>(委員長) ほかに意見が無ければ、議事 4 について決をとります。</p> <p>(委員全員挙手)</p> <p>(委員長) ありがとうございます。</p>
--	---

	<p>(5) 令和8年度ながの花と緑大賞について (委員長)</p> <p>議事5について、事務局からご説明をお願します。 (事務局)</p> <p>資料5により説明 (委員長)</p> <p>ご意見、ご質問をいただきたいと思います。 (委員長)</p> <p>最近の過去5年間の応募数の推移は、5年前は合計53件から今年度は合計33件と減少していく、部門をなくす、応募用紙を簡略化することで応募数を増やすということだが、応募はホームページからダウンロードのみでSNSは使用していないようだ。</p> <p>(事務局)</p> <p>現在は、広報ながの、チラシ、ホームページで広報している。長野市で長野プラスという媒体があり、SNSを活用して、応募についても促していきたい。</p> <p>(委員)</p> <p>長野プラスはアプリなので、関心がある人しか見ない。小中学生が良く使うのはインスタグラムとユーチューブ。インスタグラムなら、子供も自分の地域で大賞をやっていると気づくきっかけになる。</p> <p>(委員長)</p> <p>中学校、高校、小学校など学校で取り組んでいただく手法もあると思う。</p> <p>(事務局)</p> <p>緑のカーテン部門については学校からの応募があった。また、園芸家が指導に入って、小学校の庭を公共緑化の部として、公募いただいた。子供が関わって緑化すると非常に良いので、SNSによる募集等も検討したい。</p> <p>(委員)</p> <p>子供たちは学校でも、緑化活動をしていると思う。周知してもらうと、クラスの取り組みとして行うなど意欲が出てくると思う。学校に依頼する、地域に案内を出すなど、この参加人数は寂しいので、多くの方に知っていただければ、盛り上がりが違うと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>学校現場では一番は、お金がない。苗やプランターや土を支援していただければやれると思う。これも立派な作品集だが、お金をそういう</p>
--	--

	<p>形で使えたら、子供も先生たちも取り組みやすいと思う。 (事務局)</p> <p>情報発信は行政が苦手な分野と認識している。ターゲットに沿った広報媒体や、作品集の発信方法などを検討する。公園の魅力をどのように発信するかも同様の課題で、今後委員のご意見をいただいて検討したい。 (委員長)</p> <p>インセンティブとして、賞状とか証書ファイル、冊子への掲載ということだが、受賞の情報をインスタなどで配信すればやる気が出ると思うので検討を。 (委員)</p> <p>広報の方法を工夫する中で応募が増える可能性があるとすれば、部門の統合は保留して、応募の状況を見てあらたな部門設置を検討すればどうか。 (事務局)</p> <p>部門を統合した理由の一つには、どこの部門に該当するか判断しにくい応募があることと、どこに応募すればよいかわかりにくいという声もあった。応募の様子を見て、応募が多かった部門から賞を出すのもよいと思う。 (委員)</p> <p>応募用紙を簡略化したのは応募が楽になるが、評価する側からすると、デザイン、アイディアなど評価項目ごとに記載する欄があったほうがやりやすかった。また、応募の時期が4月から5月だと緑のカーテンには時期が早すぎて応募できないのでは。 (事務局)</p> <p>評価が多少しにくくなることは認識していた。記入欄に、評価項目を記載するなどして工夫したい。応募の時期については、1年以内の写真で応募できるように考えているので、前年の夏に撮影した緑のカーテンでも応募できる。 (委員)</p> <p>応募が毎年減っている状態。長野市の緑の大賞としては絶対数が足りない。最低でも50なければいけないと思う。学校に案内を出すなど創意工夫をして候補者数を倍増してもらうようにお願いしたい。 (事務局)</p> <p>賞の区分、新しい応募者の開拓が、喫緊の課題と考えている。誰を対象にどう発信していくかをしっかりとと考えながら進めていきたい。</p>
--	---

	<p>(委員長) 議事 5 について、決をとりたいと思います。 (委員全員挙手) (委員長) 用意された議案はすべて終了しました。 議事の円滑な進行にご協力をいただき、ありがとうございました。</p>
--	--